



京都府立鴨沂高等学校同窓会

奨学金制度

2019 (令和元年)年度 奨学生

寄稿文

「奨学金をいただいて」

3年 S.M

この度は、同窓会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。高校三年生の6月に父を亡くした私にとってこの奨学金の存在は大変大きなものでした。奨学金をいただけたおかげで、礼服やスーツ、それらに合せる靴など、来年から必要になるものを買揃えることができ、母の負担を少しでも減らすことができました。だから、同窓会の皆様には大変感謝しております。一時は進学するのをやめ、就職をしようかと考えたこともありました。しかし、自分の夢を叶えるために立ち止まらずに突き進むことに決めました。父が亡くなってからは、母の負担を減らそうとアルバイトをしようと思いました。母は今しかない時間を楽しみなさい、アルバイトはしなくていいと言ってくれました。

しかし私は、母のために何かしたいと思っていたので、奨学金をいただけたことで少しでも母の負担を軽減できたことを嬉しく思っています。

この度、奨学生に採用していただいたことで、今までの努力は無駄ではなかったのだと自分に自信を持つことができました。そして、この一年間より勉学に励み、学校のテストでよい点数を維持し続け、良い成績を取ることができました。

この経験を経て、私も困っている人に手を差し伸べて、人のために自分から積極的に行動できるひとになりたいと強く思いました。

この度は、同窓会奨学生に採用していただき、重ねて御礼申し上げます。

「奨学金をいただいて」

3年 0.T

今年度、奨学生として奨学金を支給して頂けたこと、とても感謝しています。

私は高校生になってから、大学受験のことを考え、度々塾に通うことを考えましたが、高額なこともあり自分で勉強してきました。

しかし、成績が思うように伸びず、高校三年生になっても志望校を決めた時、自分の力ではどうしても無理だと感じました。そんな時、奨学金を頂けることになり、入塾を決めました。両親の経済的な負担を減らすことができ、安心して勉強をすることができました。

私は管理栄養士を目指していますが、今回同窓会の皆様に助けて頂いたように、私も食を通して人々の健康をサポートしたり、人々に喜んでもらえるような食事を作ったりして、多くの人の役に立てるような人になりたいです。

これからも、感謝の気持ちを忘れず頑張ります。本当にありがとうございました。

「奨学金をいただいて」

3年 K.S

この度は奨学金を支給していただき本当にありがとうございました。

私が大学進学を考え始めたのは、二年生の頃でした。それまでは、具体的に学びたいことが見つからなかったので、毎日少しずつ勉強をし、基礎固めをしていました。そんな中、奨学金をいただけることになり、以前から興味があった心理学を大学で学びたい人になるきっかけとなりました。

私が大学で専修するのは、心理学で、日々何気にしている動作がどういう心理に関わっているのか、「人間とは何か」その本質を今の私では考えきれないので、四年間を通して科学的に理解していきたいと思います。また、サークル活動や放送部に所属していたので、その経験を生かしてボランティア活動にも積極的に参加していきたいです。

最後になりましたが、ご支援くださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。これからも先輩に劣らないように、日々精進していきます。

「奨学金をいただいて」

2年 O.S

このたびは、鴨沂高校同窓会奨学生に選んでいただきましてありがとうございました。

私は大学受験にむけて塾や参考書、模擬試験に奨学金を使わせていただきました。そのおかげで、塾では苦手な科目を少しずつ克服することができています。

また、その際に使う教材や自主勉強で使う参考書でさらに学力の向上を目指すことができています。そして、学外で実施されている模擬試験にも挑戦することができ、実力を試す機会が増えた事を嬉しく思います。私は高校入学当初から大学受験を意識しながら勉強に取り組んできました。全体の学力向上のためにまずは成績を上げる必要があると思い、先生方の授業で新たな知識をインプットしつつ、塾や自主勉強でそれらをアウトプットすることを繰り返しています。

そのおかげで学校の成績だけでなく、模擬試験の成績も上がり、ますます勉強に対する意欲が上がってきています。この奨学金制度のおかげで、親の負担を減らすこともできました。また、私の先輩方である同窓会の皆様が応援してくださっていることを感じる事ができ、精神面でも支えられました。

奨学金の受け渡しの際に、わざわざ学校まで足を運んで下さった川井秀一様にも毎回思いやりのあるお言葉をいただき、さらに学習意欲が高まりました。

これからもこの感謝の気持ちを忘れずに、勉強に励んでいきたいと思えます。

大学へ行ってからは英語と経営について深く学び、将来はグローバル社会の中で日本と海外を繋ぐ人材になりたいです。

「奨学金について」

2年 0.N

今回、奨学金を支給していただきありがとうございます。私はこの奨学金は2つの使い道に分けました。

1つは公務員試験の勉強に使う参考書のために利用させていただきました。公務員試験の勉強は学校の副教材などで勉強するのは少し違うのでとても多くの参考書を買う必要がありました。参考書は一冊千円から二千元もするものですから親に買ってもらうのも悪いのでどうしようか悩んでいました。そこで担任の先生からこの制度を勧められ、奨学金で全ての参考書を買うことができました。

もう1つは、使い道というわけではありませんが参考書を買って残った奨学金は、将来どうしても必要になった時に使うことができるように貯金しておこうと思えます。私はまさか奨学生に選ばれるとは思いませんでした。また、コツコツと頑張ってきた甲斐があった、これからも公務員試験の勉強と学校の勉強どちらもコツコツ頑張っていこうと思えました。

奨学生に選んでもらったからにはまだまだ手は抜けませんし、何より選ばれたという自信ができました。来年度は、ますます勉学に励まなければならない一年となりますが、自信をもち、同窓会の皆様への感謝を忘れず、進路実現をしていきたいと思ひます。

「夢への一歩」

2年 U.Y

私は、今年度「同窓会奨学金」を支給していただきました。

私は色彩検定や、大学の受験に必要な費用の一部として使わせていただこうと思ひています。また、コンテストの送料などにも使わせていただひています。

私は将来、世界でも活躍できるようなファッションデザイナーになりたいです。

そのために、服飾に特化した大学に行き様々な知識を得たいと思ひています。

また、高校生のうちから様々なコンテストにも応募したり、今しかできない経験をさせてもらっています。そこでは同年代の人と競いながら良い影響を与えてもらっています。

口先だけでなく行動に変え、こうどうできるように奨学金を最大限に使わせていただこうと思ひています。

今回奨学金を支給していただいたことから私自身の夢に一歩近づくことができ、本当にありがたく思ひています。

私も将来は、同窓会などに入り、若い人の夢を応援できるように、奨学金を支給していただいた人の一人として社会貢献していきたくひです。